



# ŌMIYA NEWS



No.026

2024年9月 5日

JR東労組大宮地本

## 「浦和統括センター発足に伴う体制等について」の提案を受けました！

9月5日、大宮支社より「浦和統括センター発足に伴う体制等について」の提案を受けました。内容は以下のとおりです。

グループ経営ビジョン「変革 2027」の目指す「鉄道起点のサービスからヒト起点のサービスへの転換」に向け、システムを超えて新たな価値の創造を一層推進していく観点から、以下の実施内容で浦和統括センターを発足し、これまでの役割分担にとらわれない柔軟な働き方を更に実現していく。

### 1. 実施内容

- (1) 営業関係 現業機関の新設に伴い、必要な作業内容の変更を行う。
- (2) 運輸関係 ①乗務員運用の見直しを行う。  
②他機関との乗務分担を見直す。
- (3) 教育・訓練関係 必要な教育・訓練を実施する。

### 2. 実施体制

	変形等	交代	乗務員		合計
			日勤	泊	
浦和統括センター	管理	2 5	1 0		3 5
	一般	1 4	2 1	4 3	5 8

### ※行路数内訳

	行路数		合計	記事
	日勤	泊		
運転	2 5	3 6	6 1	乗務員（日勤）のうち、土休1カット
車掌	1 6	2 2	3 8	乗務員（日勤）のうち、土休9カット
合計	4 1	5 8	9 9	

### 3. 実施日

2024年12月1日

### 4. その他

必要な準備は順次進めていく。

## ～提案時の議論要旨～

### ■議論して確認した内容

- ・所属は浦和統括センターとなる。
- ・乗務員の方は担務とすれば「乗務ユニット」という形になる。
- ・箇所を分けると「北オフィス」（現さいたま車掌区）「南オフィス」（現さいたま運転）という言い方になる。
- ・駅（現浦和東営業統括センター）の体制に変更はなし。
- ・旧浦和車掌区の箇所にあるサテライトオフィスをどのように有効活用できるか検討中。
- ・規模は現行の職場を合わせると550名となり、そこから船橋統括センターに移管される業務を引いた規模となる。
- ・管理の人数が1減となっているが、各乗務員区「事務業務・庶務業務」を担う管理が▲1となる。
- ・船橋統括センターに転勤となる方の荷物の運搬については武蔵野運輸区発足時同様に会社が運搬を行う。
- ・さいたま車掌区が行っていた浦和西営業統括センターでの「その他業務」については、現浦和東営業統括センターで行う事で内容等を検討していく。
- ・異動の希望や各社員の状況については、基本的には春の面談や秋の面談の中で把握に努めている。また普段のコミュニケーションの中でも把握していく考えである。